



43 塚田秀鏡、黒川義勝  
《双鶴置物》

大正四年（一九一五）

銀、彫金

鶴大・高八二・八

鶴小・高五一・七

仲睦まじく寄り添うつがいのタンチョウを表した金工作品で、銀や赤銅、四分一など色味の異なる金属をそれぞれ鍛造成形して、ツルの形に継ぎ合わせている。大きな作品であるが、羽や鱗状の足の表現などの細部は彫金による細工である。本作は東京美術学校の依頼製作で、大正四年（一九〇九）十一月の御大礼の際、皇太子（昭和天皇）から大正天皇へ贈られたものである。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonmaru Shozokan